

科目名	論理国語	単位数	2 単位	実施予定授業数	7 0 時間
-----	------	-----	------	---------	--------

☆学習の到達目標

学習の到達目標	知識及び技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 思考力・判断力・表現力等 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 学びに向かう力、人間性等 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書・副教材 等	論理国語（数研出版） 意味から習得 音訓別 需要頻出漢字リアルマスター3300（尚文出版） 評論・小説を読むための新現代文単語（いいずな書店）

☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学 習 の ね ら い（評価規準）	時数
第 1 学期	文化の認識/「いき」の美学	4	知識・技能 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	6
	文化の認識/「文化が違う」とは何を意味するのか？	4 5	知識・技能 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 主体的に学習に取り組む態度 筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	6
	1学期中間考査			
	文化の認識/学問の政治性	5 6	知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 思考・判断・表現 の関係において多面的・多角的な視点から評価している。〔B(1)エ〕「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。〔B(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	6
	社会の枠組み/「である」ことと「する」こと	6 7	知識・技能 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。〔(1)ウ〕 推論の仕方について理解を深め使っている。〔(2)ウ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。〔B(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 筆者の主張を理解したうえで自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 関連する二つの文章を積極的に読み比べることで自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 文章の内容に適した具体例を粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	11
	1学期期末考査			
【知識・技能】			定期テスト・小テストにより評価する。	

【思考・判断・表現】	定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。
【主体的に学習に取り組む態度】	課題及びレポートの記述内容、生徒の自己評価・相互評価により評価する。
【1学期の評価方法】	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括して、10段階評価とする。

学期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価基準)	時数
第2学期	社会の枠組み/人はなぜ働かなくてはならないのか	7	知識・技能 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。〔(1)エ〕 思考・判断・表現 「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。〔A(1)イ〕 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 資料図と資料文の内容と意見文とを積極的に比較検討し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	6
	情報と知性/人工知能はなぜ椅子に座れないのか	8 9	知識・技能 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	6
	2学期中間考査			
	情報と知性/メディアのテロル	9 10	知識・技能 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 主体的に学習に取り組む態度 筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に適切な実例を考え、学習課題に沿って話し合おうとしている。	6
	環境と人間/意志と選択	10 11	知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	6
2学期期末考査				
【知識・技能】		定期テスト・小テストにより評価する。		
【思考・判断・表現】		定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。		
【主体的に学習に取り組む態度】		課題及びレポートの記述内容、生徒の自己評価・相互評価により評価する。		
【2学期の評価方法】		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括して、10段階評価とする。		

学期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価基準)	時数
	環境と人間/環境と心の問題		知識・技能 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 思考・判断・表現	

第3学期		11 12	「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)力〕 主体的に学習に取り組む態度 筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に調べ学習に取り組み、学習課題に沿って話し合おうとしている。	6
	環境と人間/エコロジーのミューズを求めて	12 1	知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 主体的に学習に取り組む態度 筆者の主張を理解したうえで自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	6
	思索の深化/顔の所有	1 2	知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 筆者の主張を的確に理解したうえで積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って条件に即した形で説明しようとしている。	6
	物語と表現/本歌取り	2	知識・技能 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。〔(1)ウ〕 思考・判断・表現 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。〔A(1)ア〕 主体的に学習に取り組む態度 課題テーマについて積極的に具体例を考え、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	6
	【知識・技能】		定期テスト・小テストにより評価する。	
【思考・判断・表現】		定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。		
【主体的に学習に取り組む態度】		課題及びレポートの記述内容、生徒の自己評価・相互評価により評価する。		
【3学期の評価方法】		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括して、10段階評価とする。		
【年間の学習状況の評価方法】		各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ総括して、5段階評定とする。		